

200525 関東中部の異常について その5

先日来、五反田の長期データの収束と、それに同期した甲府、安曇野、福井、日光などの収束、また伊勢 E481 の収束も同期しており、長野―岐阜飛騨地方の長期の群発地震を考え合わせて、先週末の段階で、中部、東海地区の M6 クラスの地震を予想しました。また同じタイミングで 5 月 20 日から 3 日間ほど東京湾を震源とした小さい群発地震が発生し、震源が関東直下もありうると考えました。

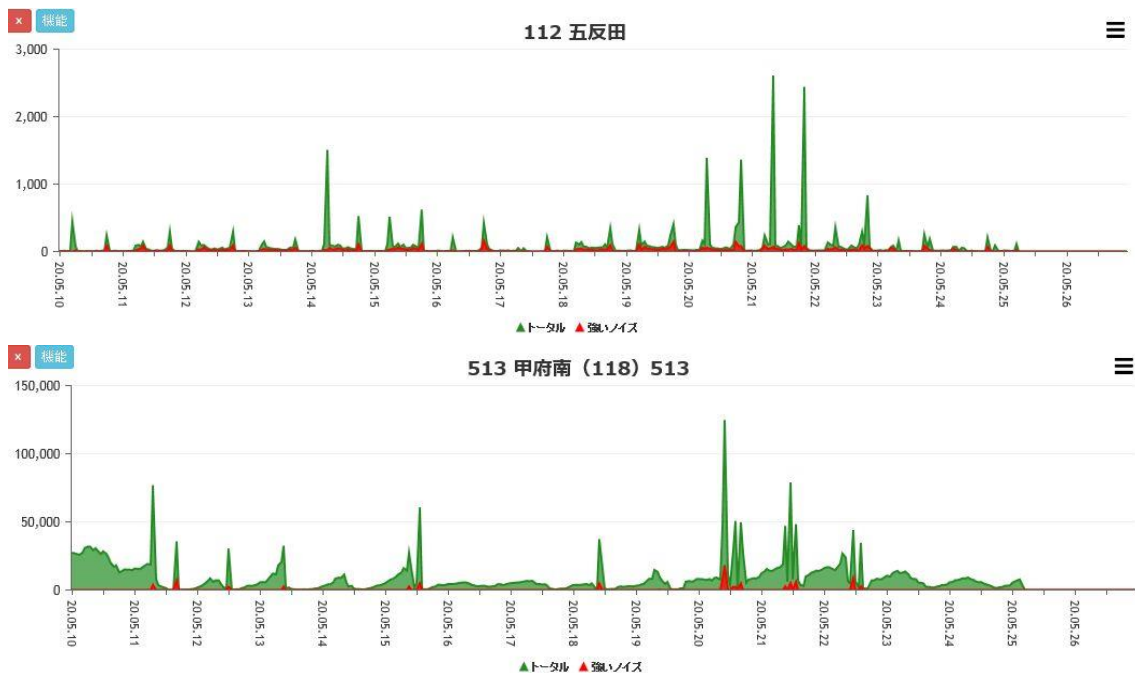
さらに 5 月 23 日土曜日が 月齢が新月でこの日から 3~4 日間は、大地震が発生しやすい、いわゆる新月トリガーにかかることから 週末または週明けの発震を予想していました。しかしこの土日は大きな地震がなく、本日、5 月 25 日月曜日の午前中の段階でも地震発生はありません。

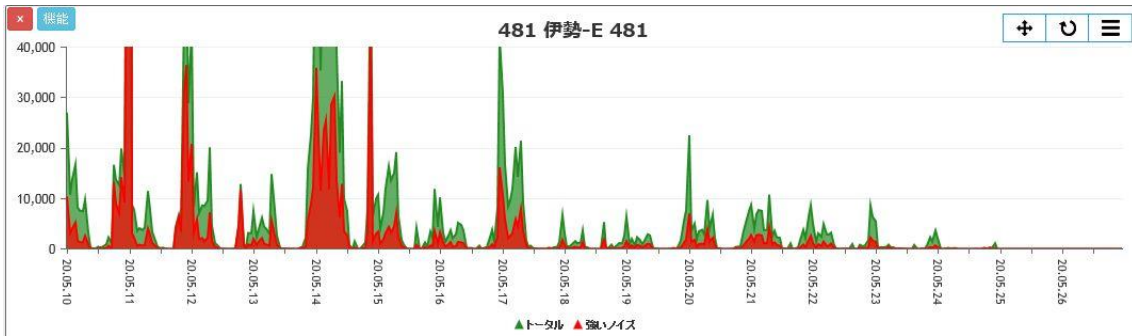
しかしながら 五反田の長期データの収束傾向は続いており 甲府、伊勢 E481 などのデータも反発せずに収束に向かっていくことから あとしばらくは要注意と考えます。通常 データの収束が長くかかり、ずっと発震が無いまま引っ張られると、この先に大型の地震が控えている可能性が大きいので もうしばらくご注意ください。

このような状況から、以下のような 3 パターンをそのままにします。

- ① 震源が関東直下、データから熊本地震級 (M6~M7) の可能性。
- ② 震源が長野県中部=岐阜県飛騨地方 規模は熊本地震級 (M6~M7) の可能性。
- ③ 伊勢 E481 のデータが海側の場合 三重県沖か遠州灘での M6 超クラス

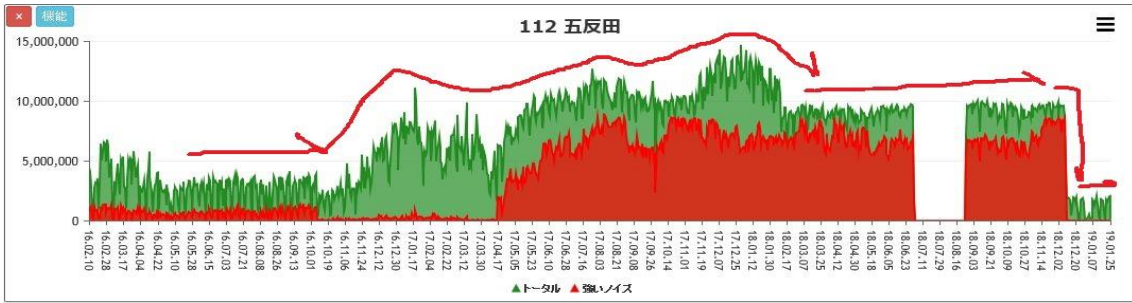
5 月 25 日現在 五反田、甲府、伊勢 E481 の 15 日間データ いずれも収束してきている



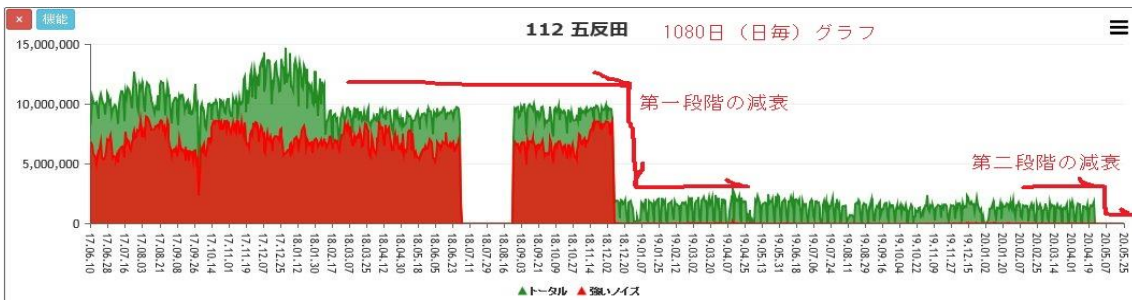


これまでの五反田のデータの推移

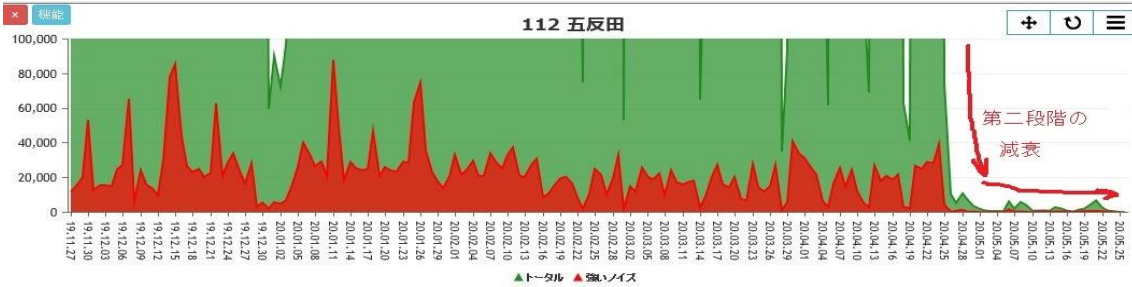
2019年1月までの3年間データ



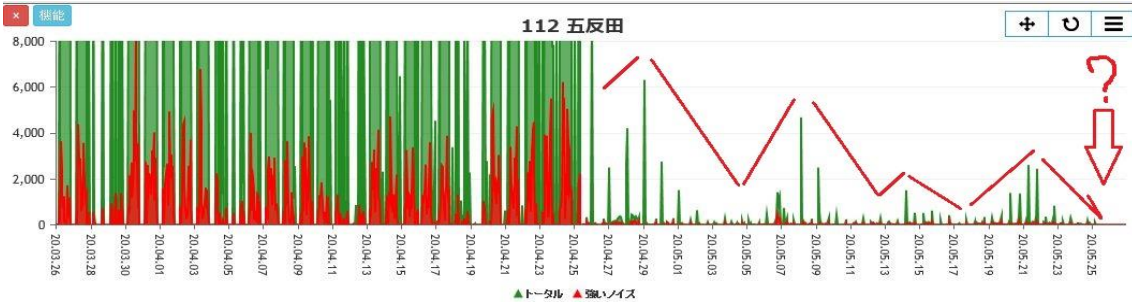
2020年5月までの3年間データ



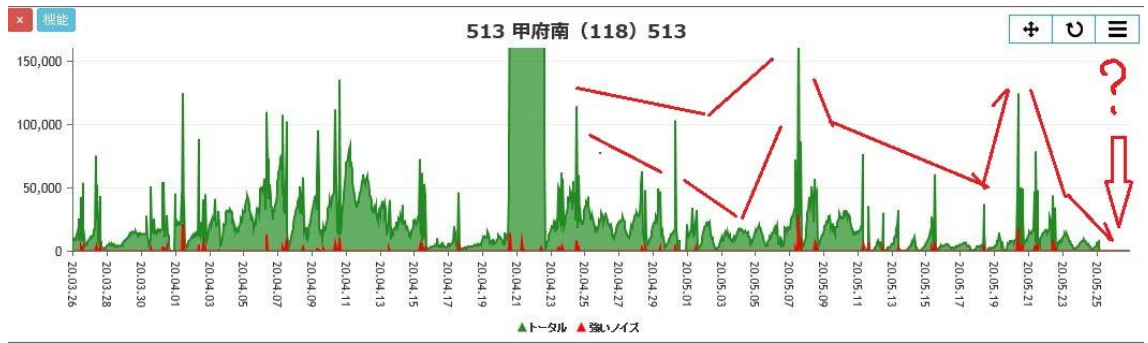
2020年5月までの180日データ



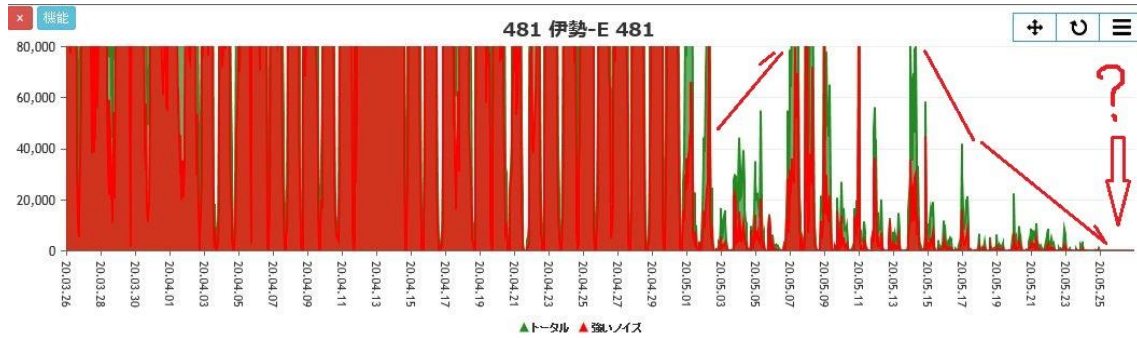
減衰から収束へ 5月25日までの60日間データ



甲府 60日間データ



伊勢 E481 60日間データ



なお、長野一岐阜の長期の群発地震と東京湾の小規模の群発地震はともに5月22日を最後に止まっています。また5月23日に和歌山県南方沖 M3.3、5月24日には三宅島近海 M4.2が発生しています。